



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 12 日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成 26 年 2 月
3. 出張目的 東北タイのサトウキビ多回株出し栽培で問題となる病害虫の検討

4. 成果の概要

タイのサトウキビ栽培において最も大きな被害を及ぼす害虫は、生育初期のメイチュウ類である。発生するメイチュウ種は 4 種知られているものの今後の防除のためには、種構成、被害消長および発生種の季節的消長を明らかにする必要がある。コンケン畑作物研究センターのサトウキビ圃場における調査で、日本から導入したニカメイガ（*Chilo* 属）用の性フェロモントラップに誘殺される種が存在することが確認できた。本種がサトウキビに加害するメイチュウ類の一種であることが確認されれば、年間の加害生態を把握することで交信かく乱による防除が可能になる可能性が高い。